

平成 28 年 8 月 18 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

ガーナ沖油田向け当社 2 基目の FPSO、TEN 油田で石油生産を開始

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)が、英国の石油開発会社 Tullow Oil Plc.の子会社である Tullow Ghana Limited(以下「Tullow Ghana 社」)より受注し、建造を行っていた FPSO (Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)は、8月17日にガーナ沖で石油の生産を開始しました。

ガーナ共和国前大統領のジョン・エバンズ・アッタ・ミルズ氏にちなんで“FPSO Prof. John Evans Atta Mills”と命名された本 FPSO は、当社の関連会社が保有し、Tullow Ghana 社に対する 10 年(その後 1 年毎×10 回の延長オプションあり)のチャーターサービス(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)に供されます。本 FPSO は、ガーナ西部の沖合約 60km に位置する Deepwater Tano 鉱区において、Tullow Ghana 社がオペレーターを務める TEN (Tweneboa, Enyenra, Ntomme) 油田の開発に用いられます。

日量 8 万バレルの原油生産能力、日量 180 百万立方フィートのガス生産能力及び 170 万バレルの原油貯蔵能力を持つ本 FPSO は、当社の米国子会社である SOFEC 社製の External Turret(エクスターナル・タレット)と呼ばれる係留設備で、水深約 1,500m の海上に係留されます。

本 FPSO は、Jubilee 鉱区にてガーナ沖に設置される初めての FPSO として 2010 年に石油生産を開始した“FPSO Kwame Nkrumah MV21”に続き、当社が Tullow Ghana 社より連続受注したもので、ガーナ沖油田向けとしても 2 基目の FPSO となります。当社は、また、本 FPSO の建造やオペレーション事業を通じガーナの産業育成に寄与することを目的に、現地のサプライヤーの開拓や人材育成プログラムへの投資を積極的に行ってきました。

当社は、大型で複雑な FPSO を数多く建造しオペレーションしてきた実績を活かせる分野として、ブラジルや西アフリカ海域などの大水深で難度の高い FPSO プロジェクトの受注に注力しています。今回のガーナに加え、コートジボアールにおいて FPSO のオペレーション事業を展開している他、アンゴラ、カメルーン、赤道ギニア、ガボン、ナイジェリア向け浮体式設備の建造を手掛けるなど、西アフリカ地域における地位を確立しています。



FPSO Prof. John Evans Atta Mills

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。

<http://www.modec.com/jp>